入院医療体制の強化について

1　病床の確保

新たな病床確保計画に対応するため、1,000 床程度の確保を目指し、各医療機関に対し要請（４月 23 日）した結果、現時点で 1,030 床（+95 床）を確保した。

新たに確保した 95 床について、順次運用を進めるとともに、引き続き、各圏域において、救急対応など医療機関の役割分担等について関係者による検討を行い、今冬の２倍相当を想定した体制の構築（1,200 床程度）を目指す。

区分		現行	拡充後	差引
病床数		935 床	1,030 床	＋95 床
	重症	118 床	124 床	＋ 6 床
	中等症２	430 床	459 床	＋29 床
	中等症１	200 床	226 床	＋26 床
	軽症	187 床	221 床	＋34 床

〔拡充病床の内訳〕

・既協力病院　：18 病院 78 床（公立公的 11 病院 57 床、民間 7 病院 21 床）

・新規協力病院：５病院 17 床（公立公的 1 病院 7 床、民間 4 病院 10 床）

2　宿泊療養体制の強化

(1) 現況（令和３年５月６日現在）

所在地			神戸	西宮	姫路	計
運用状況	施設数		5	1	2	8
	室数		626	200	339	1,165
医療ケア	医師派遣	施設数	1	1	1	3
		実施時期	R3.5.1～	R3.1.23～	R3.4.1～	－
	酸素吸入	施設数	5	1	2	8
		設置台数	28	10	12	50

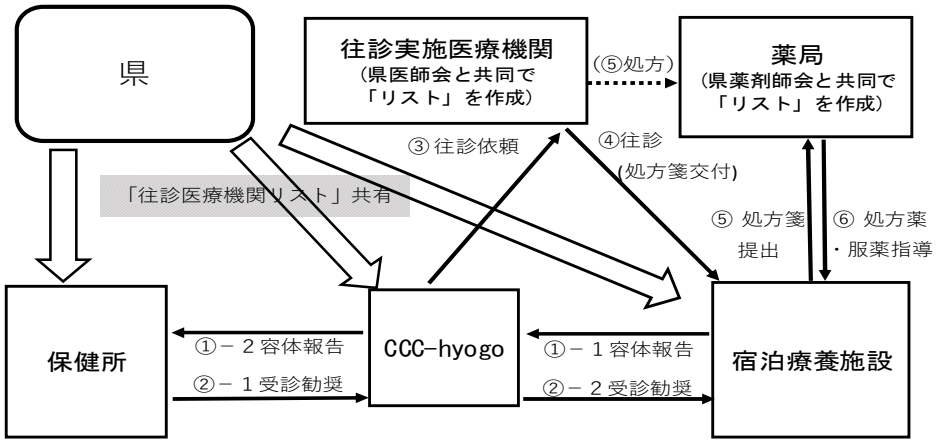
(2) 今後の取組

①施設の拡充

ア　５月 11 日から神戸市内において新たに１施設（160 室）の運用を開始する。

イ　さらに神戸市内に新たに確保した１施設（150 室程度）について、５月中旬運用に向けて準備を進めていく。

②医療ケアの充実

医師派遣施設のさらなる拡充を検討するとともに、兵庫県医師会、兵庫県薬剤師会と協議を進め、宿泊療養施設への往診・調剤等を行う体制を構築する。

［往診・調剤等想定スキーム］※緊急時は宿泊療養施設や CCC-hyogo が直接往診実施医療機関に依頼